

# ボランティア かわらばん

2012年

SINCE 1977

# 8月 No.358

編集発行 ながのボランティアかわらばん編集委員会

【発行所】

〒380-0813 長野市緑町1714-5

長野市ボランティアセンター内

TEL:026-227-3707 FAX:026-224-1513

URL <http://vnetnagano.or.jp>

E-mail: [volucen@vnetnagano.or.jp](mailto:volucen@vnetnagano.or.jp)



## 戦争の記憶を 伝える

終戦から67年。

実際に戦争を体験した人たちは年々少なくなっています。かつては身近に戦争を体験した人がいて、直接話を聞くことができました。

戦地のことをはじめ、空襲や戦時中の人々の暮らしを、男性、女性、子ども、それぞれの視点から語られ、伝えられました。


そして現在。

戦争の体験を次世代につなげようと活動している人たちがいます。

「今だから間に合う！」

「今だから話せる…」

その思いをさまざまなかたちにして伝えているのです。

 **みんながネットワーク**

このかわらばんは信毎販売センターのご好意で一部地域へボランティアで配布していただいています。

「ボランティアかわらばん」は共同募金  のご協力で発行しています。

表紙題字：青木孝子さん

# 戦争の記憶を伝える

## 長野空襲を語り継ぐ会

傳田 豊美さん

長野空襲を語り継ぐ会は、長野に空襲があり、犠牲者が出たという事実を忘れてはならないと毎年8月13日に「長野空襲を語る集い」を開催し、今年で28回目となります。

年々参加者は減少傾向にあり、参加者も50代〜60代の人を中心で、一緒に主催する長野俊英高校の郷土研究班の生徒が参加する他は、若い人はまず来ないそうです。メンバーは現在7人。創立当初から残っている「体験を語る人」は2人ほどと高齢化がすすんでいます。

傳田さんご自身は、裾花中学校に勤務していた頃、生徒たちと一緒に文化祭で戦争について取り上げたことがきっかけで会の活動に参加し、今に至ります。学校での平和教育は、こと「戦争」という言葉が冠になると政治色が強いと思われがち。理解が得にくく難しさを感じてきました。また、親も戦争体験がない世代の子ども達にとって、「戦争」は遠い世界の他人事。「ひどい」「かわいそう」とは思っても自分のこととして捉えることができないと言います。

しかし、「自分たちの年代が、パトナタッチをしなければならぬ。

これは、人権教育でもある。互いが大切な存在だと理解しあい、支えあうことにつながるはず」と傳田さんの活動を支えてきたのは、メンバー一人ひとりの「風化させたくない」という思いです。「これからは、同じような活動をしている人たちと共に大きな力にしたい。小さなろうそくの明かりを集めて灯し続けよう」と考えているそうです。

### 「長野空襲を語る集い」

日時：8月13日(月)

9時30分〜11時30分

場所：長野市ふれあい福祉センター

### 語り継ぐ戦争絵本

#### 『ピアニストの兵隊さん』

古畑 博子さん

松本市波田の古畑さん母子にお話をうかがいに訪ねました。

娘の博子さんは、小学校教員だった母・絢子さんの戦時中の体験を聞き取り、一冊の絵本『ピアニストの兵隊さん』（郷土出版社）にまとめました。

絢子さんは戦中、戦後の2年間、下高井郡にあった平岡国民学校（現中野市平岡小学校）に勤めていまし

執筆の時の思い出を話す古畑博子さん（左）と絢子さん



た。

絢子さんが学校の音楽室にあったグランドピアノを弾く練習していたある日。米兵が「ピアノを弾かせてほしい」と訪ねてきました。静かに弾き始めた曲は、絢子さんがずっと弾きたいと思っていたノクターン（ショパン）。怖いと思っていた米兵が弾く優しい音色に感動し、つらい記憶が消されていくような気持ちになったそうです。

米兵との交流は深まり、一緒に民謡を歌ったりもしたといいます。絢子さんは「こんな美しい曲を弾く米兵も銃を持たなくてはいけないかなんて」と、敵も味方もなく人生を狂わせた戦争を憎んだ当時の気持ちを話しました。

絢子さんは話しながら芋づるのようにたくさんの記憶に辿り着いていったそうです。絵本を作るに当たり「事実に基づく姿勢」を貫いたと博子さん。絢子さんと共に学校も訪ねたそうです。

「ふたをひっくりかえし（※グランドピアノのふたが開いた状態のこと）ピアノがすごいまいい兵隊がいた」と当時子どもだった男性など、絵本を読んで共感した人から反響や当時の証言なども寄せられているそうです。博子さんは「戦争体験を記憶の底に持つ人はたくさんいる。残しておくことは大切だと思う」と話しています。

少なくともこの本を読むまでずっと、終戦後すぐ日本人と米兵が一緒に歌った姿を想像したことはありませんでした。今まで私が思っていた戦争の記憶との違いに驚き、戦争にはこういう側面もあったんだな、と考えさせられました。

（取材・山越純子）



### 『ピアニストの兵隊さん』

文・古畑博子 絵・野中秀司  
(松本市在住)

(1,680円 郷土出版社)

# 戦争の記憶を伝える

## 創作紙芝居

### 『15歳の夏』

赤澤 節子さん

戦争を描いた紙芝居「15歳の夏」、赤澤さんはこの作品で戦争に行っただけではなく家を守っていた人々を描きたかったそうです。

ある手記に「庭に白いぼたんの花が咲いていました。」という記述がありました。戦死の知らせを酒を用意して迎えずはならなかった当時、土蔵の隅で声をあげて泣いていた母を見ていた娘の手記です。『これを絵にしてみました美しいのではないか』母の悲しみの深さや苦労をぼたんで表現しようとしたのです。

赤澤さんの紙芝居はほとんど実際にあったことを元に作られます。事実の後ろ側にある思いや気持ちを感じ取って紙芝居に描いていきます。戦争はいけないのだと声高に訴えるのではなく、紙芝居を見た一人ひとりが自分で感じ、そして自分のことに置き換えて考えてもらえることを願いながら作品を作り、様々なところで上演しています。

ある小学校では、教室ではじつとしていられない児童が一番前でじつと観ている校長先生を驚かせたり、ディスプレイでは、言葉が話せないと思っていた利用者さんが「飛行機

だ！」「兵隊さんだ！」と反応したのを見て、施設の職員がびっくりしたなど、エピソードはたくさんあります。ある専門学校での感想の中に『絵がともきれいでした。中でもぼたんの花の絵が好きです』という文がありました。



紙芝居上演会で。皆さん息を飲んで見入っていました。

## 中条地区 戦争体験を 語りつぐ会

戦後60年となる平成17年ころ、盛んに新聞・テレビなどで戦争についての特集が組まれる中、中条地区では戦争の体験をされた方がどんどん他界されていました。「なんとか体験を記録に残すことはできないだろうか：」中条地区遺族会の会長を

された時に遺族の思いを一冊の本にまとめた経験を持つ宮澤貢会長はそう思いながら、その形を模索されていました。「戦争を語りつぐことを忘れていたわけではない」やわらかい語りの中に「戦争体験を語りつぐ」ことへの使命のような強い思いが伝わってきました。「いつか：」そのいつかは、ふれあい長野ビデオクラブさんとの出会いによって平成22年に現実となりました。ご本人の肉声による収録ができた方は16人。カメラの前で語ることでできないこともあったにせよ、16人のあふれる思いがDVDとなりました。



「戦争体験者の語りを後世に残そう。戦争を知らない世代に伝えよう」。志を同じく集った仲間5人。その中のお一人、久保田寿一さんは収録の当日、「戦争を体験された方の話を聞きながら、なるほど戦地のおやじ達もこのような苦勞をしたのだな」と、遺品でしか知らない父親の姿に



昨年のふれあいまつりでDVDを上映しながら語る宮澤貢会長

思いをかさねることもあったそうです。

世界を見回せば争いはまだまだ絶えることなく、毎日をやつとの思いで生きている人たちだつてたくさんいます。けれど、日本では戦争を身近に感じることはできません。戦争とは何なのか。戦地で何がおきていたのか。送り出した側の人の思いは：。現実に目をそむけないで多くの方にぜひ見ていただきたいです。（かがやきひろば中条 松野久実子）

DVD16巻とダイジェスト版2巻の貸し出しを行っています。

### 【問合せ先】

◎中条地区戦争体験を語りつぐ会

(代表・宮澤貢)

TEL..268・3680

◎かがやきひろば中条

TEL..268・3200

「今だから間に合う」「今だから話せる」戦争に関するお話を募集しています。

戦地でのことや戦時中の人々の暮らしなど、実際に体験された方はもちろん、地域やサロン、お仕事などで関わる中で、戦争に関するお話をお持ちの方をご存知の方は、ボランティアセンターまで情報をお寄せください。

TEL..026-227-3707

FAX:026-224-1513



# ボランティア千夜一夜物語 3

「止めようなんて一度も思わない」 片山 幸子さん

カケは、まだ当時、ボランティアという言葉ではなく「社会奉仕」と呼ばれていた時代に、結婚をして出産をし、9ヶ月の娘さんの子育てと寝たきりの義母の世話をしていた頃でした。育児と介護に追われ、家の中で何か「一人ぼっち」に



片山幸子さんは、現在二つのボランティアで活動している大ベテランです。一つは点訳ボランティアでんとう虫、二つ目は外国人のための日本語教室。

片山さんがボランティアを始めたきっかけは、まだ当時、ボランティアという言葉ではなく「社会奉仕」と呼ばれていた時代に、結婚をして出産をし、9ヶ月の娘さんの子育てと寝たきりの義母の世話をしていた頃でした。育児と介護に追われ、家の中で何か「一人ぼっち」に

が楽しみで交流を深めています。片山さんのお話を伺い、家族のご理解もとても深いと感じました。亡くなったご主人の遺言書には、「すぐにでもボランティアに戻って一人でも多くの人の役に立ちなさい」と書いてありました。「ボランティアは生活そのもの」とおっしゃるの

長野オリンピック前に参加した「草の根の国際交流を考える会」でした。外国人のための日本語教室では日本語を教えるだけでなく、生活に困った時には親身になって相談にも乗ります。最近では、一緒に勉強した外国人の仲間と食事をするのが



作った作品を持って、はいチーズ！

## 中学生がやってきました！

信大附属長野中の2年生が社会体験で長野市ボランティアセンターにやって来ました。受付、講座の準備、掲示コーナーの整理など次から次と出てくる仕事はバラエティーに富んでいます。4日間の感想を生徒達に聞いてみました。

### ◆村田俊介くん

「ここにはボランティア団体や社会福祉施設などからチラシが集まりますが、量が多すぎてチラシが見つからなくなっていました。そこで見やすいように、チラシ立てを作りました。仲間と作れば個人的な作品も出てきておもしろかったです。」

### ◆酒井賢人くん

「『ボランティアするって、どういうこと？』という講座を受けました。一番心に残ったのが『自分がやりたいこと』ではなく『他者からの求め』に応じて考え動くという言葉です。自分も、役割ではないからといって他人に押し付けていたなあと振り返ることができました。これから他者からの求めに応じて考え動くということを意識していきたいです。」

### ◆徳永理樹くん

「職場体験をしてみて、働くことはとても難しいと思いました。一番難しかったのは、受付の仕事でした。挨拶を大きな声でするのができませんでした。電話での対応がうまくできませんでした。貴重な体験になりました。」

意欲的に、自発的に活動ができたみたいですね。ここでの体験が今後に活きるといいですね。

# 長野市災害ボランティア委員会だより

大槌で **お花** を植えてきました。

2012/06/24  
長野市災害ボランティア委員会 派遣 第32次派遣

300kmの道のりを抜けたお花たち

浪板のお兄さんの指導のもと、せっせと作業中...

この花は大きくなるから、1つの盆に3つまで入れ!

丸い盆にそぐわいく寄せ植え

浪板を言われる人を明るく迎えてくれるように...

作業完了! 華やかになった玄関前!

交流センターの片隅に目撃していたプランターもさぞ賑やか!

第32次派遣隊  
畑野陽子さんから  
いただいた報告書です



いつもお世話になって  
いる、岩手県大槌町にあ  
る浪板交流促進センター  
に、花の苗をお届けしま  
した。センターの野崎勝  
憲館長さんから、「交流  
センターの玄関前を花で  
きれいにし、訪れた方に  
和んでもらいたい」と相  
談がありました。ちよう  
ど、派遣ボランティアが  
6月から始まりましたの  
で、苗をお届けることにな  
りました。館長さんのご  
配慮もあり、苗を植える  
作業もお手伝いすること  
が出来ました。

長野市内の花屋「花ボ  
ケー」さんより、苗をお  
よそ20の株寄付してい  
ただきました。

ご協力ありがとうございました。

6月26日。待望の第一弾となる、本のお届けをすることができました！お届け先は、吉里吉里小学校。本の寄贈は、大槌町唯一の本屋「一頁堂書店」さんを通して寄贈させて頂いています。

今回のお届け図書は、吉里吉里小学校からあらかじめ希望をいただいていた本です。夏休みの課題図書等に使われるそうです。

また、本の裏表紙の見返しに、寄贈のハンコが押してあります。寄付を

いただいた小学校のクラスから、名入れの希望がありましたので、当委員会とあわせて入れていただきました。プロジェクトにご協力いただいた皆様、本当にありがとうございます。

<http://handmadeje.nagano.blog.jp>



本の裏表紙に寄贈のハンコが押してあります

## はんどめいどプロジェクト

岩手県大槌町の小学校へ本を贈るための資金作りとして  
手作りの小物を販売するプロジェクトです



左から吉里吉里小学校の図書担当・沖知子先生、  
岩切博文副校長、一頁堂書店・木村薫さん

# 情報かわらばん

## 第18回 健康を考える交流会

空気も水も食べ物を見直そう  
環境を意識してつながろう。  
日 時：8月11日(土) 13:30~15:30  
場 所：長野市中央隣保館 第2会議室  
参加費：300円(お茶代)  
問：健康な未来を考えるSowing.net(高遠)  
TEL：090-2179-9741  
FAX：026-227-6919  
E-mail：e-moco@mx2.avis.ne.jp  
URL：http://Sowing-net.digi2.jp/

## おしゃべりサロン あいまい会

いろいろな世代、どなたでもご参加いただけます。ちょっと誰かと会いたい、話したい人、お茶を飲みながら楽しくお話しませんか。  
日 時：8月21日(火) 13:30~15:30  
場 所：長野市ふれあい福祉センター  
会 費：100円  
問：あいまい会(岩佐)  
TEL：026-227-0004



## 8月の月例情報市場

企業・NPO・ボランティアグループ相互の物品・資源・情報の交換会です。  
参加費は無料です。  
日 時：8月22日(水) 16:00~  
場 所：長野市ふれあい福祉センター 4F3  
問：ながのボランティア・市民活動支援ネットワーク(仲條)  
TEL：026-227-3707  
E-mail：kanri@nagano-shien.net  
URL：http://www.nagano-shien.net/



## お知らせ

### ふれあいまつり 企画ボランティア募集

10月21日(日)にホワイトリングで開催する今年の「ふれあいまつり」をいっしょに盛り上げてくれる“仲間たち”集まれ！  
あなたのアイデアや思いを実現するチャンス！  
みんなで楽しめる企画をいっしょに考えましょう♪  
日 時：9月4日(火) 18:00から企画ミーティングを行います  
場 所：長野市ふれあい福祉センター  
対 象：高校生以上  
締切り：8月27日(月)までにお申込みください。  
問：長野市ボランティアセンター(山崎)  
TEL：026-227-3707  
FAX：026-224-1513



### 子どもがつくる地域パンフレット！

#### 参加者 大募集！

子ども達の絵日記を集めて、長野県の紹介パンフレットをつくりまします！子ども達の思い出が語る地域パンフレット！ぜひ、ご参加ください。  
受 付：絵日記提出：9月1日(土)~9月15日(土)  
対 象：小学生まで  
問：信州エンターテイメント(森田)  
TEL：090-9824-3625  
E-mail：info@shinshu-entertainment.jp  
URL：http://www.shinshu-entertainment.org/



### ご寄付ありがとうございました！

ハガキ、切手、テレホンカード、ベルマーク等  
6月25日~7月18日分

林大輔 富士通長野システムエンジニアリング労働組合  
長野市ボブスレーリユージュパーク 長野市収納課  
中沢久夫 長野日大高校女子校風委員会 宮島厚(敬称略)  
有効に活用させていただきます。

## 現場状況 6月分

(取りまとめ期間：6月1日~6月30日)

相談件数		問い合わせ件数		その他	
ボランティアしたい	23 件	会議室予約	520 件	情報カード受付	55 件
ボランティア求む	17 件	伝言	302 件	機材貸し出し	34 件
情報求む	34 件	情報提供	420 件	<b>ボランティア保険加入</b>	
ボランティア活動支援	31 件	機材貸し出し	350 件	ボランティア活動保険	60 件
ボランティア活動上の悩み	9 件	チラシ・掲示板	164 件	行専用保険	5 件
よろず相談・悩みごと	4 件	その他	372 件	在宅福祉サービス総合保険	5 件
ボランティア保険・事故処理	2 件	受付(よりのいい会等)	312 件	送迎サービス補償保険	1 件
その他	10 件	合計	2440 件	合計	160 件
合計	130 件				

## 皆神ハウス開所10周年記念 地域サックスコンサート and 発掘お宝市

皆神ハウス開所10周年記念として、地域サックスコンサート及び発掘お宝市を開催します。お宝市の物品寄付も併せてお願いいたします。

日 時：9月8日(土) ①発掘お宝市 11:00～  
②地域サックスコンサート 13:30～

場 所：皆神ハウス(長野市皆神台157番地)

ゲスト：さとうともじさん

問：社会福祉法人 絆の会

地域活動支援センター皆神ハウス(坂口)

TEL：026-278-7466

FAX：026-285-0579



## 麦っ子コンサート

創立20周年記念事業として麦っ子コンサートを開催します。

日 時：9月9日(日) 開場12:45 開演13:30

場 所：長野市若里市民文化ホール

入場料：大人(高校生以上) 600円/

小中学生・障害者 300円/幼児無料

問：NPO法人 麦っ子広場(井上)

TEL/FAX：026-223-1718



## ミュージック&マジックコンサート

マジックと音楽が合体した、不思議で楽しいコンサート。障がいのある方もない方も、年齢を問わず、どなたでもご参加いただけます!

日 時：8月12日(日) 13:00～14:30

場 所：長野県障害者福祉センター・サンアップル

講 師：大友剛さん

定 員：200人

参加費：無料

問：NPO法人 長野音楽療法研究会(室川)

TEL/FAX：026-263-7832

E-mail：mtnagano@viola.ocn.ne.jp



## 長野エンジョイ・ハーブス 10周年記念コンサート

大正琴の音色を皆さんに聞いていただき、暑さをふきとばしてください。

日 時：8月18日(土) 12:30開場 13:00開演

場 所：長野市東部文化ホール

参加費：無料

問：長野エンジョイ・ハーブス(服田)

TEL：090-4153-9608



## アイウィル寺子屋2012 学習交流会

中学校や高校の様子を聞いたり、勉強方法のアドバイスを受けたり、子供同士が直接情報交換をする場を提供します。

“夏休みの宿題を持って集まろう!!”

日 時：8月12日(日) 13:00～18:00

場 所：長野市ふれあい福祉センター 4F和室

講 師：NPO法人アイウィル登録のプロ家庭教師

対 象：小・中・高校生

参加費：無料(不要参考書、未使用文房具がありましたら寄付してください)

問：NPO法人 プロ家庭教師のネットワーク

アイウィル(上垣)

TEL：026-264-2070

FAX：026-264-2657

E-mail：iwill-info@yahoo.co.jp

URL：http://iwill.yu-yake.com



## 夏休み一日きずな塾

きずな塾で一日一緒に勉強しませんか?勉強したい教科の教科書、宿題などを持ってきてください。

子どもたちの学びをサポートするボランティアも募集中。

日 時：8月3日(金) 10:00～15:00

場 所：長野中央介護センターつるが 1F

講 師：学びサポートボランティアが一人ひとり丁寧に教えます。

対 象：小学生～高校生

参加費：100円(お昼代)

問：反貧困ネット長野(宮崎)

TEL：026-234-3307

FAX：026-234-1493

E-mail：y-miyazaki@healthcoop-nagano.or.jp

Twitterユーザー名：@naganohanhinkon



## 女性のためのDIY講座 ～縁台に彫刻をしよう～

女性限定のDIY講座、気軽に使える縁台に彫刻をして世界に一つだけのおしゃれなイスを作りましょう!

日 時：8月23日(木)・30(木)、9月5日(水)

いずれも9:30～11:30

場 所：かがやきひろば松代

講 師：柳沢康信さん他

対 象：市内在住の60歳以上の女性

定 員：10人

参加費：300円

材料費：4,500円

持ち物：彫刻刀2種類、2B鉛筆、木工道具

問：かがやきひろば松代(小宮山・北澤)

TEL：026-278-0050



# ボランティア かわらばん



## ボランティア情報誌

発行所/〒380-0813 長野市緑町1714-5 長野市ボランティアセンター内  
Tel : 026-227-3707 Fax : 026-224-1513  
URL <http://vnetnagano.or.jp> E-mail:volucen@vnetnagano.or.jp

### 募 集

#### あなたの力を貸して下さい！ ～大槌町派遣ボランティア募集中～

まだまだ現地では復興支援が必要とされています。東北の復興にご協力をお願いいたします。

- 派遣日程：①派遣期間：8月23日(木)～26日(日)  
オリエンテーション：8月18日(土) 10:30～12:00  
②派遣期間：9月6日(木)～9日(日)  
オリエンテーション：9月1日(土) 10:30～12:00  
③派遣期間：9月20日(木)～23日(日)  
オリエンテーション：9月15日(土) 10:30～12:00

派遣先：岩手県大槌町  
募集人数：4～7人(最小催行人数4人)  
移動手段：ボランティアの方の車を利用  
(※ガソリン代25,000円/台まで支給します)

宿泊先：大槌町  
費用：宿泊費、交通費、食事代、参加者の自己負担  
参加条件：①長野市内のICを早朝出発が可能な方  
②オリエンテーションに参加可能な方

問：長野市災害ボランティア委員会  
TEL : 026-227-3707  
FAX : 026-224-1513  
E-mail : [dvcnagano@gmail.com](mailto:dvcnagano@gmail.com)  
ブログ : <http://dvcnagano.naganoblog.jp/>

### ボランティア募集

障害のある方の自立や活動(外出)を支援して下さるボランティアを募集しています。

日時：主に土曜日、夏休み等学校休業日  
場所：長野市若穂  
内容：動物園やカラオケ、プール付き添い等余暇活動の支援・お手伝い

問：社会福祉法人 廣望会  
地域生活支援センターCOCO(堀内)  
TEL : 026-268-5220  
FAX : 026-268-5230  
E-mail : [coco-net@grn.janis.or.jp](mailto:coco-net@grn.janis.or.jp)  
URL : <http://www12.ocn.ne.jp/~coco-net/>



### イベント

#### クールシェア、ピークカットにチャレンジ

今夏、信州クールシェアスポットに登録しているボラセンに集まろう!!

ボランティア(グループ)の皆さんが楽しいサロンを開きます。暑い時間にボラセンに来て作業をしながらクールシェア!!

①草ぶえとトンボ玉ストラップづくり  
日時：8月8日(水) 13:30～15:30  
材料費：100円

②ながのふくぞうくんプロジェクト  
小物作りで被災地を応援  
日時：8月9日(木) 13:30～15:30  
持ち物：さいほうセット

③カワイエコバッグづくり  
一枚のカレンダーが大変身!!  
日時：8月10日(金) 13:30～15:30

場所：いずれも長野市ふれあい福祉センター 1F  
ボランティアセンター

申込み：不要  
問：長野市ボランティアセンター(西澤・長岡)  
TEL : 026-227-3707



#### 地球の料理教室～ブラジル料理編～

夏休み、身近な異文化を味わってみませんか。

ブラジル生まれの講師(多文化共生サポーター)とJICA教師海外研修でブラジルへ派遣された講師から、①料理を習って、②異文化の話を聞き、③ひとくち会話も習ってしまう、お得で楽しい教室です。

日時：8月18日(土) 10:00～14:30  
場所：長野市ふれあい福祉センター 4F調理室  
参加費：料理材料代として500円  
定員：20人 ※親子でご参加も大歓迎です

申込締切：8月10日(金)  
メニュー：ブラジル料理「フェジョン」(豆と肉を煮込んだ、ブラジルの「母の味」。優しい味で美味しい!)etc

問：JICA長野県デスク(宮澤)  
TEL : 026-235-7186(長野県国際交流推進協会内)  
E-mail : [jicadpd-desk-naganoken@jica.go.jp](mailto:jicadpd-desk-naganoken@jica.go.jp)

